

にいがた労福協

<ライフサポートセンター>

No23 2015年 10月28日

一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2
Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
e-mail:ni-rfk@bz04.plala.or.jp
URL http://www.niigataken-rofukukyo.com/
発行責任者 山田 太郎

ワーク＆ライフフォーラムin新潟 連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて

人間らしく生き、働き、暮らすことのできる社会の再生をめざす取り組みが全国各地で芽生え、広がっています。県内においても、これらの取り組みを持ち寄り、連帯・協同の力で安心・共生の福祉社会をめざす活動が広まっています。

ろうきん福祉財団と労福協の連携した事業であるワーク＆ライフフォーラムは、今年で3年目を迎える、長岡市、上越市と続けてきた第3回目は、9月26日（土）・27日（日）の2日間、新潟市の新潟東映ホテル他、数会場において開催されました。

1日目は、中央労福協・山本副会長より、「持続可能な地域社会をめざして労働者福祉運動の前進を歴史に学び、新しい公共を創り出そう」をテーマに基



調講演がされました。その後、全盲の天才ピアニスト・辻井伸行さんの母親として、絶望と不安のなか、手探りで子育てをスタートし、「明るく、楽しく、あきらめない生き方」をモットーにプラス思考の行動力で子育てしてきた辻井いつ子氏から記念講演を受けました。

その他、にいがた福祉リーダー塾、にいがたNPO基金、地域で活動されるNPO団体等の紹介がされました。全体交流会では、今回初めての試みとして、ホテル側からの協力もいただき、各テーブルが食品ロスを出さない「食べ残しぜロ作戦！」のスタイルで「飢餓」と「食品廃棄」の矛盾を意識し、参加者の皆さんからも協力してもらう機会としました。

この2日間のワーク＆ライフフォーラムを契機に労働者福祉運動に携わる諸団体をはじめ、地域課題に取り組むNPOや市民活動団体、自治体との連携を図り、相互に補完しあうことで労福協運動のネットワーク強化とワインディングの拡大に発展していくことを期待します。

2015にいがたワーク＆ライフフォーラム in 新潟

記念講演

ピアニスト辻井伸行さんの母
辻井いつ子氏

2015年9月26日(土) 14時30分
新潟東映ホテル

**「明るく、楽しく、そして
あきらめない生き方」**

参加無料

「働くママの本音」

～多様性を認めた働きやすい環境づくり～

働くママをめざす女性のコト、働き出世のコト、子育てのコト、女性のコト由のところみんなは
どうやってますか？おしゃべりイベントもやってありますよ。新潟人ワーク・ワーフォーマンス・プロジェクト
主催：新潟市立山形中学校・セキスイハイムにて開催される企画セミナーです。

チケット料金：コスモロードチケット
ちゃい文々氏×丸山結香氏

2015年9月27日(日) 14時30分
新潟東急REIホテル(新潟駅直結)

「食品の廃棄対応」「フードドライブ」開催します

9/26(土)・27(日) 「もったいないから「ありがとう」へ」

新潟東映ホテル1F 食品廃棄対応で廃棄を行います。
新潟東急REIホテル(新潟駅直結) お問い合わせ

TEL 025-384-4456

会場

新潟東映ホテル
新潟東急REIホテル(新潟駅直結)
新潟市立山形中学校
セキスイハイム

お問い合わせ

新潟労働者福祉協議会(新潟市中央区新光町6番地2)
tel 025-281-0890



700名が参加されました。

第25回新潟県勤労者駅伝大会

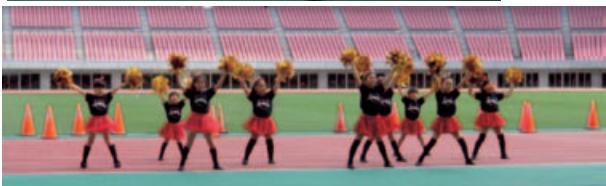
86チーム800名が参加



その後、恒例となつたスタジオキャンドルの可愛い女の子たちのチアダンスが披露され、大会実行委員長の号砲でレースはスタートしました。

東日本大震災以降、様々な形による助け合い、支え合いが共感を生んでいます。大会では、四半世紀という節目を迎える大会となりました。朝までの雨による水たまりや一部コースを変更したこともあり、運営に支障をきたす心配もされました。

その後、恒例となつたスタジオキャンドルの可愛い女の子たちのチアダンスが披露され、大会実行委員長の号砲でレースはスタートしました。



労働者の暮らしをサポート 育成会

(正式名称)

- 「労働者とその家族の暮らしに役立つ活動を支援・育成する会」
- 育成会は新潟労金に加入している団体会員（県内約2400会員）によって構成されています。
- 育成会には労金本支店所在地で活動する25の地区育成会があり、それぞれの地域で労働者福祉の前進に関する諸活動を行っています。
- 育成会役員は各店舗ごとに設置された労金常任推進機構から選出されています。

9月19日（土）、早朝まで降っていた雨も上がり、秋晴れの下、連合新潟・労福協主催の第25回新潟県勤労者駅伝大会がデンカビックスタジアムにおいて開催されました。

今大会は、86チーム（約800名の選手・スタッフ）が県下各地から参加し、日頃、鍛えた健脚を競う熱いレースが繰り広げられました。

大会は、齊藤大会実行委員長（連合新潟会長）

の主催者挨拶に続き、来賓として新潟県労政雇用課・火宮課長祝辞の後、JP労組Bチーム・尾嶋沙織さんが選手宣誓を行いました。

その後、恒例となつたスタジオキャンドルの可愛い女の子たちのチアダンスが披露され、大会実行委員長の号砲でレースはスタートしました。

東日本大震災以降、様々な形による助け合い、支え合いが共感を生んでいます。大会では、四半世紀という節目を迎える大会となりました。朝までの雨による水たまりや一部コースを変更したこともあり、運営に支障をきたす心配もされました。

その後、恒例となつたスタジオキャンドルの可愛い女の子たちのチアダンスが披露され、大会実行委員長の号砲でレースはスタートしました。

その後、恒例となつたスタジオキャンドルの可愛い女の子たちのチアダンスが披露され、大会実行委員長の号砲でレースはスタートしました。

その後、恒例となつたスタジオキャンドルの可愛い女の子たちのチアダンスが披露され、大会実行委員長の号砲でレースはスタートしました。

<総合順位>	
優 勝	JP☆RCチームA
準優勝	十日町市
3 位	コロナアスリートクラブ
4 位	佐渡市役所A
5 位	新教組上越RANラン乱
6 位	糸魚川市役所駅伝競走部B

1時間25分10秒
1時間26分01秒
1時間30分37秒
1時間32分43秒
1時間33分47秒
1時間34分50秒

<男女混合順位>（女性2名以上が実走したチーム）

1 位	胎内市職にこにこRCーA	1時間37分53秒
2 位	糸魚川市役所駅伝競走部B	1時間39分12秒
3 位	やまびこDRC	1時間45分47秒

夢咲Clubの案内

夢咲Clubは労金に加入していない労働者や退職者の方々が、労金を利用する際に加入いただくメンバーズクラブです。預金、給与振込、公共料金自動振替をはじめ、住宅ローン、マイカーローン、教育ローンなど、各種ローンのご利用ができます。

<ご加入資格>

県内に居住または勤務する労働者等

<ご入会手続き>

最寄りの労金本支店で手続きできます。



労金関係業務(育成会・夢咲Club)運営事務局 勤労福祉社会館内

連絡先 Tel 025(281)1188

E-mail: spp66tw9@samba.ocn.ne.jp

ラングウッド（東京）にて、中央労福協主催による2015年度事業団体・地方労福協会議が開催されました。



会議の主要な課題は、①効率化の名の下に金融事業化した「奨学金」制度の利用実態や問題点などに関するアンケートの取り組み、②勤労者の暮らしにかかるサポート事業、③2015年度「生活底上げ・福祉強化キャンペーン」の取り組み、④労働者自主福祉事業の利用促進に向けた具体的な施策の展開について、労福協加盟事業団体と全国の地方労福協代表が参加する中で取り組みの意思統一が図られました。

その中でも

奨学金問題は、今や大学生の2人に1人が「奨学金」という名

のローンを利くし、滞納者も33万人を超えて、学生支援機構による過酷な取り立てが社会問題と

なっています。日本の未来を担う若者に多重債務の借金を負わせ追いやる社会の不条理を正していく取り組みがスタートしました。

東部ブロック労福協・

東部ブロック労福協・ ライフサポート事業経験交流



平成27年度
日韓親善協会
定期総会を開催

主催者を代表して、黒河会長からLSC事業経験交流の目的や歴史について挨拶があり、その後、長野労福協の「くらし・なんでも相談（ほつとダイヤル）」の事業開始10年、その経験を佐藤豊氏（弁護士）から報告がありました。



この事業は、ようやく本格実施になつたばかりであり、相談者への自立支援と同時にライフサポートセンターがめざしている、支援を通じた地域づくり、包摵社会のネットワークづくりが大切であることを改めて確認できる講演でした。

県労福協に事務所を移転して初めての日韓親善協会の定期総会が9月1日（火）新潟東映ホテルで開催されました。

■期間 2015年11月13日（金）～2016年4月15日（金）※12/29～1/5の期間を除きます。
 ■おひとり様代金（税別）※1泊2食付き・大人4名様以上1室利用の場合
 8,000円～15,500円

●総合生協グループ
コープ・トラベルセンター
 株式会社 コープサービス
 新潟営業所 〒950-0086 新潟市中央区花園2-1-6
 ☎025-245-8589
 長岡営業所 〒940-0036 長岡市愛宕3-7-24
 ☎0258-39-7730
<http://www.niigata-travel.coop>

コープ・トラベルセンター 検索

新潟県総合生協第61回通常総代会を開催！

「たすけあう心を大切に」

8月11日、新潟県総合生活協同組合の第61回通常総代会がAN Aクラウンプラザホテル新潟において開催されました。主催者を代表して、田才理事長から挨拶がされました。

【田才理事長挨拶の骨子】

上場企業の株主総会では前年を上回る決算と報じられているが、業種による格差は拡大し、特に地方経済は、景気回復の実感が乏しいのが現実ではないか。一方、勤労者の賃上げは、大企業を中心に実施されたが、中小・零細企業への波及効果は不十分。加えて、物価高、消費税率の引き上げなどで暮らしの厳しさは続いている。

今年3月、総合生協は、創立・創業60年を迎えた。戦後の荒廃した社会経渓の中で、全国的に生活改善を求める労働運動が高揚し、総合生協の前身となる「新潟県勤労者福祉対策協議会（福対協）」が設立された。

設立時の事業として、「10円牛乳」や「火災共済事業」は総合生協事業の原点であるといえる。その後福対協をベースとし共済や住宅、旅行等、協同購入事業の本格的な展開



にあわせ、現在の総合生協に名称変更することとなつた。60年の時を経て県民の暮らしや生活を支える総合生協として43万人を超える県内最大の協同組合組織として成長した。日本は少子化と高齢化、そして人口減少社会へと進む中、先行き不安が生じている。非営利で助け合い組織としての総合生協は、行政とNPO等との連携がこれまで以上に求められる時代となつた60年目のスタートにあたり、「たすけあう心を大切に」総合生協の使命達成のために組織や

祝賀会となりました。

その後、開催された総合生協創立60年のレセプションでは、泉田県知事をはじめ、県内外の各界から700名を超える参加者が一同に会し盛大な祝賀会となりました。

2015ワーク＆ライフセミナー in 長岡

10月4日（日）、2015ワーク

&ライフセミナー in 長岡がホテルニーオータニ長岡NCホールで開催さ

れました。

イベントのマーンは、子育てしやすい優しい街づくりとワーク・ライフ・バランスをテーマに、シンガーソングライターの『新沢としひこ』さんを迎えてのライブ&トークショーに子育て真っ最中やさまざまな事情を抱えている母親など、約280名の市民が集いました。

大人向けのライブと長岡のパネリストも参加されたトークの組み合わせで会場と一体となつたライブ&トークは、笑いあり、涙ありで最後まで、楽しませてもらいました。



労働金庫から生活資金や住宅資金を借り入れる際の保証人となる勤労者のための信用保証機関です。

【保証引受の実績】 (2015年8月末現在)

保証引受の内容	保証引受残高（千円）
無担保ローン	39,789,135
住宅ローン	125,916,690
合 計	165,705,825

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地18
一般財団法人新潟県労働者信用基金協会

NPOや市民活動団体の皆さんから活動紹介がされました。

活動紹介の時間帯は、テーブルを離れてはならず、料理の食べ残し「ゼロ作戦」の和やかな交流会となりました。

水会館（東京）において第4回地方労福協会議が開催されました。「2015生活底上げ・福祉強化キャリアン」の取り組みを中心議題とした意思統一の会議であり、全国共通した課題の推進として、①若者を追い込む雇用劣化と奨学金問題の改善、②生活・就労支援を強化し生活困窮者自立支援制度を地域で支え、③労働者福祉事業を利用し、共助の輪を地域に広げるための具体的な取り組みが提案されました。



8月31日（月）～9月4日（金）、韓国総聯盟ソウル特別市地本部の第13回代表団6名が来日されました。昨年に引き続き、今回もメンバー全員が女性で構成され、病院関係労組、介護関係労組、バス労組、郵政労組など5名の代表団と通訳が来日されました。

連合新潟と労福協との意見交換会では、両国の社会情勢や労働者を取りまく状況について熱い入った意見交換がされました。

また、韓国でも格差社会の拡大に伴う低所得者や非正規労働者が増加傾向にあること、雇用の打ち切りや高齢者対策が問題となっているとの報告がされました。

おりしも9月1日は、日韓親善協

協会の定期総会が新潟東映ホテルで

9月17日（木）・18日（金）、如水会館（東京）において第4回地方労福協会議が開催されました。「2015生活底上げ・福祉強化キャリアン」の取り組みを中心議題とした意思統一の会議であり、全国共通した課題の推進として、①若者を追い込む雇用劣化と奨学金問題の改善、②生活・就労支援を強化し生活困窮者自立支援制度を地域で支え、③労働者福祉事業を利用し、共助の輪を地域に広げるための具体的な取り組みが提案されました。

秋から取り組まれ、全国的なキャリアン活動を展開することが確認されました。

韓国総聯盟ソウル特別市地域本部代表団來日 新潟の皆さん！

안녕하세요
(こんにちは) アンニハセヨ

開催されて、総会終了後の日韓国交正常化50周年を記念した交流会に参加されました。代表团一行は韓國民族舞踊や歌謡ショーに大変満足されている様子でした。

政府間レベルでは、領土問題など複雑な課題もありますが、格差と貧困の課題を克服するためにも国境を越えた労働組合の国際連帯が重要となっています。今後も交流を通じてお互いをさらに理解し合い、絆をより強いものにしていきたいと願っています。



（中央労福協への表敬訪問）

代表团一行は、8月8日～12日の日程で来日されました。

（除征団長以下5名）
回中国・黒竜江省总工会の代表団

国際交流協定にもとづき、第14

が、8月8日～12日の日程で来日されました。



（総合生協創立60周年記念祝賀会参加）
その後、新潟県総合生協からの招待を受け、創立60年の祝賀会に出席されました。

第14回中国黒竜江省 総工会との定期交流

新潟県労福協としての歓迎交流会は、祝賀会終了後、ANAクラウンプラザホテルにおいて、連合・労金・総合生協・労福協等役員との間で開催されました。

（連合新潟・労福協との意見交換会）

最終日（12日）に代表団一行は、勤労福祉会館を訪れ、連合新潟・労福協役員と労働者をとりまく両国の社会・経済情勢や職場環境等について熱心に有意義な意見交換が行われました。

黒龍江省总工会代表団の訪問は、今回で14回目となります。交流期間33年に及ぶ歴史と伝統に支えられた実績を受け止め、さらに友好と連帯を深めることをお互いが確認し、無事、帰国の途に就かれました。

め、今年度から新潟市内各区に配置された生活支援相談員からも出席をいただきました。その他、ハローワークの就労支援ナビゲーター、新潟市内各区の社会福祉協議会、県弁護士会、社労士会、NPO・市民活動団体の代表から参加いたしました。前回から新規に登録された相談事例に対し、熱心なアドバイスや建設的なご意見等、いただき支援プランを確認しました。

モデル事業から本格実施となつて6ヶ月が経過しますが、新潟市PSCセンターの新規相談者数は、9月末時点で前年比の倍増（平成26年180名、H27年360名）となり、改めて地域ニーズの高さと生活困窮に陥っている方の多いことが数字からも証明されています。

新潟市バーソナル・サポートセンター 第5回支援調整会議の開催

祝 新潟・ハバロフスク市 姉妹都市提携50周年

8月6日（木）、ホテルオーラ新潟にて、『祝新潟・ハバロフスク姉妹都市提携50周年』の祝賀会が開催されました。

（PSC）の第5回支援調整会議が

40名参加する中で開催されました。

本事業の委託者である新潟市から担当係長をはじめ

昭和40年（1965年）4月23日、新潟市とハバロフスク市は姉妹都市提携に

関する宣言に調印し、本年、50周年の節目の年を迎えました。両市は7月・8月に運航された新潟空港発着の極東プログ

ラムチャーター便を利用し、代表団・文化団・スポーツ団・「友好の翼」の相互派遣を行い、両市で各種祝賀・交流事業

福協とハバロフスク地

を実施してきました。
新潟市における50周年の祝賀会は、ハバロフスク市長を団長とする代表団、文化団、スポーツ団など、80名が参加されました。セレモニー後のアトラクションでは、青少年文化団によるロシア民族音楽とダンスアンサンブルが披露されました。

方労働団体連合との交流50周年の節目の年となります。その意味で姉妹都市提携50年の歴史は、労働組合の交流50年の歴史でもあり、両国間の友好と親善に労働組合の立場から貢献してきたことを伺える祝賀会でした。



当面の主な活動予定

- 10月 24日（土）生活困窮から脱却するためのシポジウム
 26日（月）フードバンク7にいがた役員会
 28日（水）ワーク＆ライフフォーラム実行委員会
 11月 4日（水）フードバンクにいがた運営委員会
 7日（土）第2回生活困窮者支援事業全国交流会
 8日（日） “ ”
 11日（木）地域づくりセミナーin高柳
 12日（木）第106回県労福協理事会
 18日（水）新潟協同ネットワーク役員会
 21日（土）にいがたワーク＆ライフセミナーin柏崎

- 11月 24日（火）第2回LSC評価・検証委員会
 27日（金）中央労福協定期総会
 12月 4日（金）フードバンクにいがた運営委員会
 9日（火）上越市生活困窮者支援事業シポジウム
 10日（木）東部ブロック定期総会
 11日（金）東部ブロック研修会
 13日（日）日韓国交正常化50周年記念公演
 15日（火）フードバンク役員会
 21日（月）上越P.S.支援調整会議
 22日（火）第3回LSC評価・検証委員会
 27日（火）中央労福協LSC実務担当者会議



前売券発売
会員限定価格
で斡旋していま
す。
3,500円
(労福協まで)



■■ 2015ワーク＆ライフセミナーin 柏崎 ■■ 主催：柏崎地区労福協、協力：NPO法人柏崎まちづくりネットあいさ

- ◇日 時 2015年11月21日（土） 15時～
 ◇会 場 市民活動センターまちから（柏崎市西本町3-2-8）
 ◇内 容 第1部：「仕事×社会貢献で豊かなまちへ」【講師】西川紀子氏（社会福祉法人ロングラン理事長）
 第2部：「地域を支える様々な活動のカタチ」【講演団体】地元市民活動団体3団体他
 懇親会：参加者相互の交流 ※参加費2,000円

■■ 2015ワーク＆ライフセミナーin 村上 ■■ 主催：2015ワーク＆ライフセミナーin村上実行委員会 後援：NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター他

- ◇日 時 2015年11月28日（土） 13時30分～
 ◇会 場 村上市民ふれあいセンター 2階 研修会議室（村上市岩船3270）
 ◇内 容 第1部：「トークセッション」【登壇者】長岡造形大学学生、村上市観光協会職員、地元民間企業代表者等
 【コーディネーター】佐藤亞紀氏（FM PORT ナビゲーター）
 第2部：「まちカフェ」（参加者全員による意見交換会）～若者の力を活かしたまちづくりの可能性～
 第3部：懇親会（参加者相互の交流）※参加費2,000円

自立した持続可能な地域社会創造事業

■■ 地域づくりセミナーin 高柳 ■■

- ◇日 時 2015年11月11日（水）・12日（木） ◇会 場 柏崎市高柳「じょんのび村」
 ◇内 容 第1部研修会「百年の森林構想」の実践と成果に学ぶ
 【講師】牧大介氏（株）西粟倉・森の学校校長
 第2部報告会「2014年度地域社会創造助成団体」成果報告
 【報告】・ふあいんど（三条市）・佐渡地域観光交流ネットワーク（佐渡市）・ものずき村（魚沼市）
 第3部交流会



～みなさまの参加をお待ちしています～

（一財）新潟ろうきん福祉財団 025-288-5273 URL <http://www.zaidan-hukushi.or.jp>

教育ローン キャンペーン やってます。

【期間】2015年12月30日(水)まで

*詳細については《ろうきん》窓口にてお問い合わせください。

パソコン・スマートフォンからも
簡単に仮申込ができます!



W
チャンス!



チャンス1 教育ローンに関するご相談の方

合格祈願文具セット
+
進学マネープランガイドブック

チャンス2 期間中ろうきん教育ローンを
お申込の方(仮申込を含む)

図書カード1,000円分
もれなくプレゼント!

R 新潟ろうきん

0120-191-880

(平日9:00~17:00)

新潟ろうきん

検索

自賠責共済を取り扱っています！

自動車損害賠償責任共済



ご加入希望の方は
ご相談ください

ご契約車両を運転中に、他人にけがをさせたり、死亡させたりした場合の対人賠償事故を補償します。

自賠責共済とは？

自動車損害賠償保障法によって道路を走るすべての自動車(二輪車を含む)、原付自転車に加入が義務づけられている共済(保険)です。

死亡	最高 3000万円
けが	最高 120万円
後遺障害	程度に応じて 4000万円~75万円



もし自賠責共済(保険)に加入していないと？

未加入で運行した場合、法律により罰せられます。



6ヶ月の免許停止(政令)
+ 6ヶ月

1年 懲役 50万円以下の罰金

原付・バイクをお持ちの方は特に注意！

車検制度のない原付・250cc以下のバイクは自賠責共済(保険)の有効期限切れに特に注意が必要です。今一度、有効期限のご確認を！



満期年
満期月



マイカー共済とあわせてのご加入をおすすめします。

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。

全労済

全国労働者生活共済組合連合会

全労済は、営利を目的しない保障の生協として共済事業を
営み組合員の皆さまの安心とよりある暮らしをめざしています。
出資金をお支払いいただき組合員になれば、各種共済をご
利用いただけます。



総合生協
新潟県総合生活協同組合

新潟県では、総合生協が全労済から
業務を受託して実施しています。